

なぜ、ワーク・ライフ・バランスが必要？

これまでの働き方では個人、企業・組織、社会全体が維持できなくなる恐れがあるといわれています。

みんなで考えよう！男女共同参画

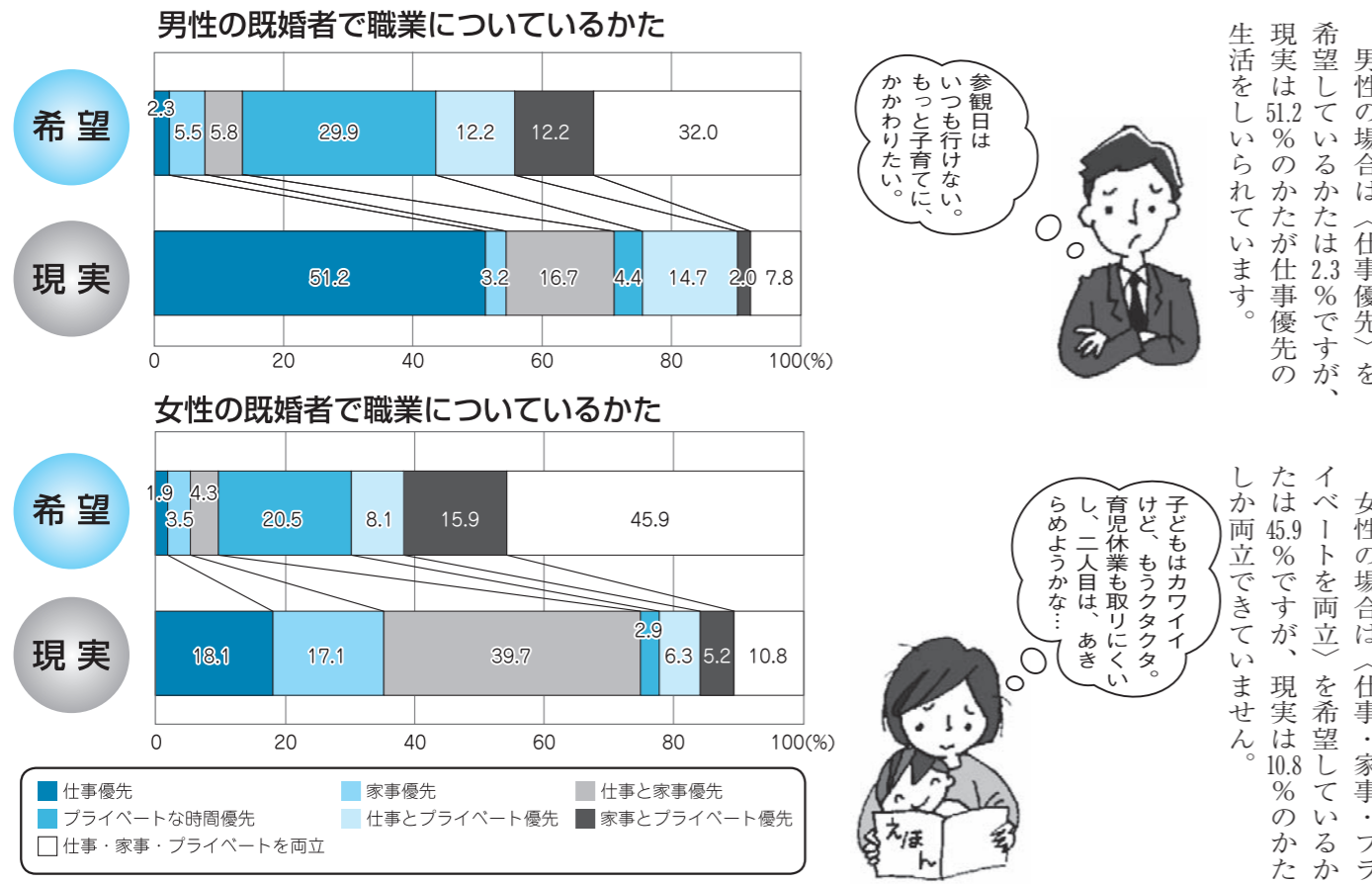
ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和) をすすめよう

ゆっパル14号
男女共同参画市民情報誌
「ゆっパル」編集委員のコーナーです

少子高齢化による人口減少時代を迎え、活力ある社会を実現するためには、誰もがさまざまな可能性を自ら選択でき、能力を最大限に発揮できる環境が必要です。
そこで、家庭（子育て、介護を含む）、職場、地域社会などで、自らの希望で生活できる「ワーク・ライフ・バランス」について考えます。

ワーク・ライフ・バランスの希望と現実

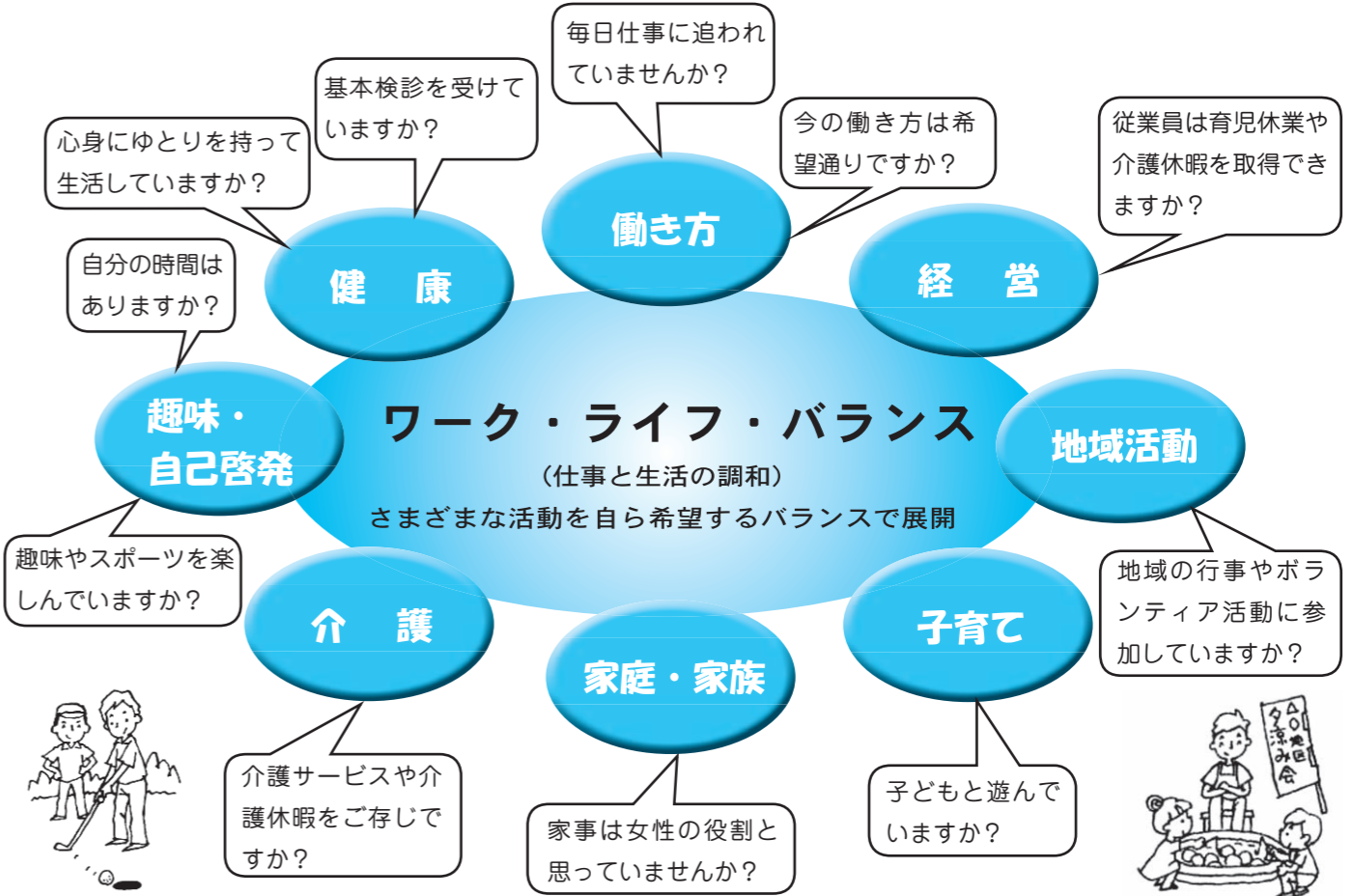
出典：「職場・家庭・地域における男女共同参画」青森県より



男性の場合は（仕事優先）を希望しているかたは2.3%ですが、現実には51.2%のかたが仕事優先の生活をしいられています。



女性の場合は（仕事・家事・プライベートを両立）を希望しているかたは45.9%ですが、現実には10.8%のかたしか両立できていません。



男女共同参画に関するご意見・ご要望をお待ちしています。

問い合わせ先
総務課広報男女参画係
☎051111内線155

編集委員
氣田明美、高森修子、
中野渡明美

新しい時代の新しい生き方
「ワーク・ライフ・バランス」社会の実現で男女共同参画社会づくりをすすめよう！

今日の社会は、働く人々の将来への不安や豊かさが実感できない社会といわれています。安定した仕事に就けず、経済的に自立することができない、仕事に追われ心身の疲労から健康を害しかねない、仕事と子育てや老親の介護との両立に悩むなど、社会の活力低下や少子化、人口減少につながっています。

老若男女誰もが、仕事上の責任を果たしつつ、結婚や育児などの家庭生活、ボランティアなどの地域活動への参加、介護や趣味、勉強などの自己啓発など「仕事と生活の調和」を実現していくことが必要です。新たな生活スタイルがこれからの時代に求められています。

新しい時代の新しい生き方
「ワーク・ライフ・バランス」社会の実現で男女共同参画社会づくりをすすめよう！

ワーク・ライフ・バランスとは？

男女共同参画会議「仕事と生活の調和に関する専門調査会」によると、老若男女誰もが、仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発などさまざまな活動について、自ら希望するバランスで展開できる状態のこと。

「子どもと家族を応援する日本」重点戦略検討会議「働き方の改革分科会」によると、個人が仕事上の責任を果たしつつ、結婚や育児をはじめとする家族形成のほか、介護やキャリア形成、地域活動への参加など、個人や多様なライフスタイルの家族がライフステージに応じた希望を実現できる状態のこと。

ワーク・ライフ・バランスには、さまざまな定義がありますが、仕事と仕事以外の諸活動がバランスの取れた状態にあることです。

働き方や地域活動、子育てなど、個人のライフステージにおいて、仕事と仕事以外の生活が衝突したり、摩擦を起こしたりする状態を回避する仕組みづくりが必要です。多様性を尊重した活力ある社会を目指すためには、経営者や労働組合、学識者推進活動を行う団体などの幅広い賛同と協力が求められています。